平成 25 年 2 月 15 日

各位

東京都品川区東品川二丁目２番 43 号
株式会社アマナホールディングス
代表取締役社長　　進藤 博信
（証券コード：2402　　東証マザーズ）
問合せ先 コーポレートオフィス本部長 田中和人
TEL：03-3740-3500
e-mail：ir@amana.jp

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成25年2月15日開催の取締役会において、平成25年度（2013年度）を初年度とする「中期経営計画 amana transformation 2015（計画年度：2013年度～2015年度）」を策定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

以 上

中期経営計画 [amana transformation 2015] の概要

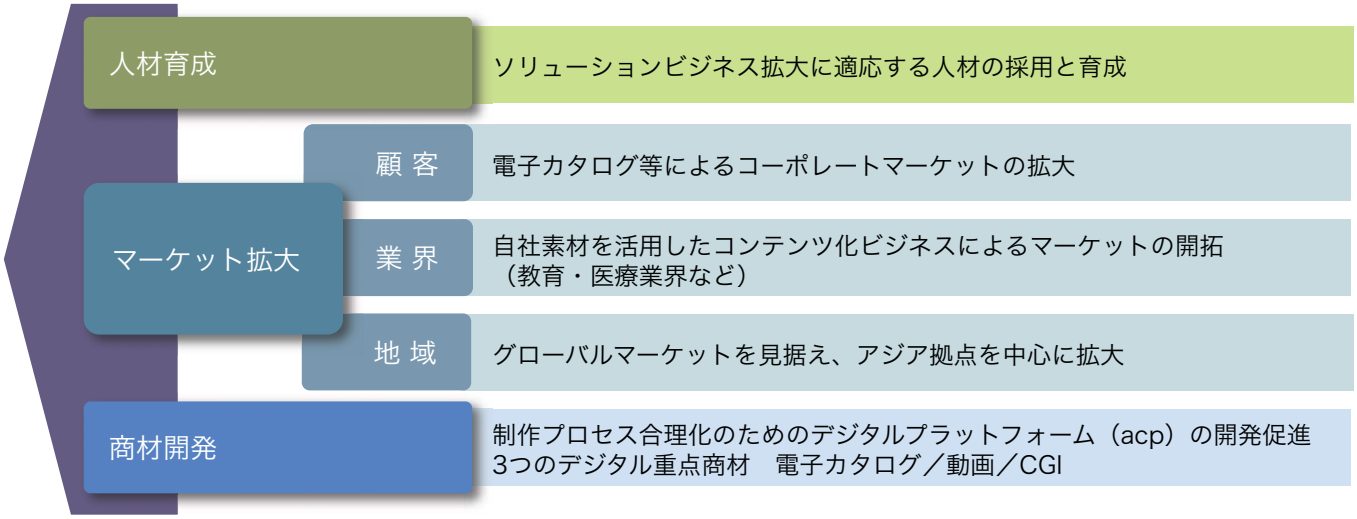
1 中期経営計画策定の目的

当社グループでは、デジタル技術革新によるメディアの変化や価値観の多様化による広告の変化など、経営環境の動向が幾分か判断可能な状況に至ったこと、また、平成31年(2019年)に創立40周年を迎えることなどに鑑みて、中長期的な観点から経営計画の策定に取り組んでおります。
メディア変革期において持続可能な成長を実現するために、今般、平成25年12月期から平成27年12月期の3ヵ年について“中期経営計画　amana transformation 2015”を策定しました。

2 中期経営計画の基本方針

メディア変革期の ビジュアル・コミュニケーションマーケット	■次世代型ビジュアル・ソリューションビジネスの拡大 ■グローバル戦略のための経営基盤の強化

3 中期経営計画における戦略の柱



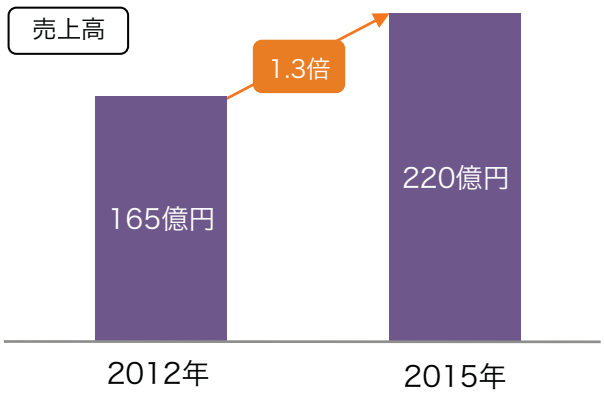
4 事業グループの成長戦略

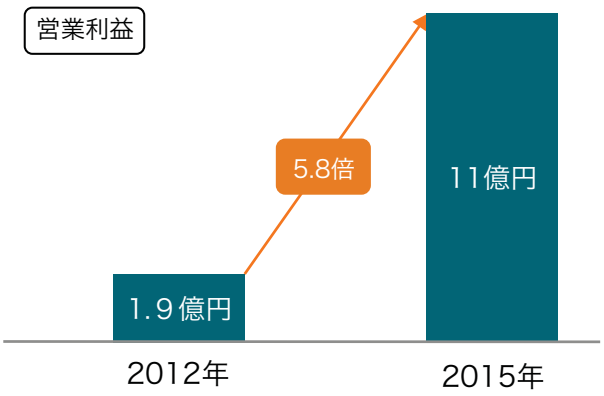
事業	事業戦略
ストックフォト事業	・amanaimages.comをコンテンツ制作のソリューションサイトへ ・保有する素材を活用したコンテンツ化ビジネスの推進 ・ストックフォトの仕入・販売フローの効率化
ビジュアル・ コミュニケーション事業	・素材の受託制作の営業とコンテンツの受託制作の営業の一元化による営業力強化 ・電子カタログ・動画・CGの専門チーム設置によるソリューション力強化 ・外部リソース活用による多様性、効率性の追求
エンタテインメント映像事業	・国内外拠点の効果的活用による制作品質・効率の向上 ・製作委員会への参画・原著作の創作等権利ビジネスへの参入

＊注）事業区分の変更については、平成25年2月15日発表の「平成24年 12月期　決算短信（連結）」の５ページをご参照ください。

5 計数計画

5-1　２桁成長の継続と営業利益率５％の達成





（単位：億円）

	2012年	2015年	増加額
売上高	165	220	55
営業利益	1.9	11	9.1
経常利益	1.2	10	8.8
当期純利益	0	6	6
営業利益率	1.1%	5.0%	

5-2　１人当たり付加価値額と１人当たり固定費

当社グループでは「社員1人当たりの付加価値額」及び「社員1人当たりの固定費」を重要な指標としています。
付加価値額、固定費は、次のとおり定義しています。
付加価値額 ＝ 売上高 － 外注費など制作にかかるコスト（変動費）
（内部で管理されるスタッフ等のコストを除く）
固　定　費 ＝ 社員にかかる人件費・設備費・活動費など
（算出式）　1人当たり付加価値額 ＝ 付加価値額 ÷ 社員数
1人当たり固定費 ＝ 固定費÷社員数

連結

（単位：千円）

	2012年	2015年	
1人当たりの付加価値額	11,100	12,700	
1人当たりの固定費	10,800	11,500	
差額	300	1,200	1人当たりの付加価値額と固定費の差額を増加させる

（単位：人）

連結人員数	963	1,093	130名増増加予定
うち営業人員数	350	452	受託制作の営業人員100名増加予定